

御意見の概要	県の考え方
<p>5年後(2025年)の評価指標を掲げているが、対策と評価指標がどう整合しているかが分かりにくい(p.110)。 p.21での括りと、p.35について、評価をどのように結びつけるのかが分かりにくい。 対応を分かりやすくするために一例として、記号や色、番号の表記、内容の説明、表記等は統一してみてはどうか。</p>	<p>・3期計画書の各単元(5つの目標、9つのテーマ、39の対策群、5分野の推進対策、3つの部会、指標)の関連性を分かり易くするため、相関図を作成しました。さらに、関連した内容を統一した色に整理することで、見やすさを改良するとともに、期待される効果の記載を新たに追記し、少しでも分かりやすくなるように修正いたしました。</p> <p>・計画書では、以下のとおり修正しました。 P25 5つの目標と9つのテーマについて整理(色) P26～34 9つのテーマの色を統一 P36 取組指標を分野ごとに色分け P38 抽出した推進対策を色、分野名で分類 P67 部会と、推進対策の関係を表として追記 P114 部会での取り組みを中心に第3期で期待される効果を指標化したものを色とマークで分類 P116 各単元の相関図を掲載</p>
<p>今回、3部会にまとめたことから、これに合わせて出来るだけ「課題の抽出と施策」を市民レベルで理解できるように整理する必要がある。</p>	
<p>印旛沼の水は、旧江戸川の千葉県側辺りまで上水道として配水し、南の木更津方面まで工業用水として送水している。印旛沼の水を使っている範囲が分かる図があると良い。また、水の用途が分かる図もあるとよい。</p>	<p>P6～8 に関連する資料を掲載しました。</p>
<p>印旛沼流域と周辺地域や水系に関連した集積した事実を明確にすべきと考える。</p>	<p>これまでに集積して整理した資料やデータ等をHPに掲載し冊子としても作成しているため、P18に「いんばぬま情報広場とこれまでの取組成果」を追記いたしました。</p>
<p>各水管理施設の現状と運用に関する課題等を整理すべきと考える。</p>	<p>P44(流域情報の整理)に「水運用施設・農業施設運用の運用に関する実態・課題」を整理する旨を追記いたしました。</p>
<p>開墾の歴史・文化と周辺地域とのつながり等を整理すべきと考える。</p>	<p>以下のとおり追記いたしました。</p> <p>P18 いんばぬま情報広場で歴史に関連するパンフレットなどをの発信状況を記載</p> <p>P56 ①かわまちづくり計画による拠点整備・ネットワーク化の、2項目目に「ネットワーク化の推進にあたっては、自転車道、休憩施設など既存施設や地域資源、舟運の障害状況等を把握・整理して進めていく」旨を追記</p> <p>P56 ②印旛沼流域における水辺の利活用方策の検討・実施の4項目目、地域資源の例に「谷津・谷津等流域の自然環境や観光施設」に加え、「歴史・文化」を追記</p>